

氏名 (学校名)	船曳 凌史 (岡山理科大学)	国 (希望する体験)	ミャンマー	企画テーマ	日本語教育体験
受入れ先	もみじ日本語センター	期間	8/27～9/13	担当者	村松愛先生
日付	体験日誌		日付	体験日誌	
2019/8/27	<p>本日は、特別授業を2時間、授業のお手伝いを1時間30分しました。今回の特別授業のテーマは、「観光地を教えあおう」です。本日の参加者は7人でした。内容はまず私が自分も地元について紹介し、その後生徒それぞれに自分の地元を紹介してもらうというものでした。授業の手伝いでは、まず授業風景を拝見させてもらい、終わりの20分ほどで生徒からの質問を受けました。先生の授業では、しっかりと日本語をおしえながら楽しく授業を行っていました。本日の体験では、生徒と楽しく授業をつくることができました。しかし、生徒が理解できない単語も何度か使ったので、次回は生徒が理解できるように言い方で伝えるようにしたいと思います。</p>		2019/9/1	<p>本日は、11時から13時までの2時間特別授業、14時から15時30分までの1時間30分授業のお手伝いをさせていただきました。今回の特別授業は、「童謡を歌おう」をしました。今回の受講者は2名でした。前回と同様に、まず私の自己紹介。次に童謡を歌い、その後質問を受ける時間になりました。前回は歌詞の意味は全く言わずに歌ったので、歌詞の意味が分からなかったかもしれません。なので今回は、歌う前に歌詞の意味を考えてもらってから歌いました。今回の特別授業は少人数でしたが、よく歌ってくれました。授業のお手伝いでは、少しだけ教えるということをさせていただきました。しかし、私が未熟で緊張していたため、生徒には伝わっていないようでした。この経験を生かしていきたいです。</p>	
2019/8/28	<p>本日は、16時から18時までの2時間特別授業をさせていただきました。今回の生徒は、日本企業に就職予定の53人のクラスでした。授業テーマは、昨日と同じく「観光地を教えあおう」をしました。内容も昨日と同じくまず私が自己紹介をし、その後生徒に自分の地元を紹介してもらいました。今回は人数が多いため、近くの席の人と紹介があった後何人かに出てきてもらい、そのひとに前で発表してもらいました。その後20分ほど、質問の時間になりました。私の個人的なことから日本のことまでたくさんの質問してくれました。反省点として2時間の間一度も休憩の時間を取らなかったで、生徒は疲れていたと思われます。</p>		2019/9/3	<p>本日は、特別授業の参加者がいなかったため、11時から13時までの2時間は9月12日に行われるスピーチコンテストの参加番号表の作成、14時から15時30分までの1時間30分は授業のお手伝いをさせていただきました。これまでは授業に関係のあることをいつもさせていただいていたので今回の参加番号表の作成のような事務的な仕事はとても新鮮でした。本日の授業のお手伝いでは前回と同じく生徒が日本語でスピーチをするという内容でした。先生は生徒がこのようなことがしたいと自分たちで言ってきたとおっしゃっていました。私には信じられないような学習意欲だと思いました。私もこの生徒たちを見習わなければならないと思いました。</p>	
2019/8/29	<p>本日は、11時から13時までの2時間特別授業、13時30分から15時までの1時間30分授業のお手伝いをしました。今回の特別授業には2人来てくれました。今回の授業テーマは「童謡を歌おう」を行いました。内容としては、まず自己紹介、次に童謡の説明、その次に実際に童謡を歌い、最後に日本語で生徒と会話や質問をしました。今回は2人と少人数でしたが、来てくれた2人が積極的に授業に参加し歌をうたって、質問もたくさんしてくれたので楽しく授業を行うことができました。まだ生徒が理解できる単語とできない単語がつかめていないので、わからない単語を言った時にはできるだけわかりやすい言い回しにできればと思います。授業のお手伝いでは前回と同様に始めは授業の見学をさせていただきました。終わりの20分ほどで私から生徒へ日本語で質問をしました。</p>		2019/9/4	<p>本日は、11時から13時までの2時間特別授業、14時から15時30分までの1時間30分授業のお手伝いをさせていただきました。今回の特別授業は、先週の水曜日と同じく日本の企業に就職する生徒たちのクラスでした。今回のテーマは「童謡を歌おう」です。内容としては、まず歌詞を読んで意味を理解してもらいました。次に歌を聴いてもらい、その後少しずつ練習し、最終的には3曲を歌いました。人数は多いクラスですが、皆さんとても理解力が高く、2度ほど聞いただけで覚えていくすごいと思いました。本日の授業のお手伝いは、前回と同じくスピーチをする授業でした。この授業は今回が最後ということで、テーマは自由で好きなことを話すという内容でした。皆さんいろいろな日本語を使い自分の考えたことを話していました。</p>	
2019/8/30	<p>本日は、11時から13時までの2時間特別授業、14時から15時30分までの1時間30分授業のお手伝いをさせていただきました。今回の特別授業には6人の生徒が来てくれました。今回の授業テーマは「弓道について」を行いました。内容としては、まず自己紹介、次に弓道とはどんなスポーツなのかの説明、その次に弓道についてルールや道具などの説明、最後に日本語で生徒と会話や質問をしました。始め弓道という言葉のみを言った時には全く知らないようでしたが、弓道の映像を見せると、何人かのせいとは知っていると言ってくれました。今回の授業では弓道をやりたいたとまで言う生徒はいなかったようので次はもっと興味を持ってもらえるようにしたいと思います。今回は前回までとは別の先生のお手伝いをさせていただきました。今回の授業は生徒が決まったテーマの中から一つ選びそのテーマで日本語でスピーチをするというものでした。</p>		2019/9/5	<p>本日は、11時から13時までの2時間特別授業、13時30分から15時までの1時間30分授業のお手伝いをさせていただきました。今回の特別授業のテーマは、「童謡を歌おう」をしました。今回参加してくれた生徒は、4人でした。本日の生徒のうち3人は2度目の受講者でした。この「童謡を歌おう」というテーマが一番生徒が楽しんでいるように思います。歌うことが好きなのは、日本もミャンマーも変わらないと感じました。歌った後の私と日本語で話す時間でも、意欲的に話してくれました。授業のお手伝いでは、本日は、27日と29日に行かせていただいたクラスに行きました。今回は授業の内容が終わった後、私が15分ほど話をし、その内容に関して生徒が私に質問をする時間になりました。反省すべき点として、私自身が日本の文化などを理解しきっていないかったことと、話した内容がやや日本の自慢話になっていた部分があったので、気を付けるべきだったと思います。</p>	
2019/8/31	<p>本日は、9時から17時まで留学フェアのお手伝いをさせていただきました。私は、ブースの設営の手伝い、そしてパンフレットの配布をさせていただきました。会場には当日は約2,000人の人が来ており多くの人が日本へ留学したり働きに行きたいと思っていることを知りました。私はミャンマー語ができないのでブースに来てくれた人に説明することはできませんでしたが、会場にこれだけでも学ぶことはありました。ブースに来た人は何度も質問をしたり真剣さが伝わってきました。大学の方も留学しやすいような環境を作っていました。</p>		2019/9/6	<p>本日は、11時から13時までの2時間特別授業、13時30分から15時までの1時間30分授業のお手伝いをさせていただきました。今回の特別授業では、「弓道について知ろう」というテーマをしました。本日の参加者は、2人でした。おそらく弓道というものが全く分からないため弓道がテーマの日にはあまり参加者が来なかったのだと思います。これは反省として授業の告知をする際に、弓道がどのようなものをテーマととも書いておくべきでした。今回の参加者のうち1人は弓道の動きをやってみたいと言ってくれたので、簡単に一緒にやってみました。少しは弓道に興味を持ってくれたようで良かったです。授業のお手伝いでは、昨日と同じ授業を見学させていただきました。こちらの授業では、遊びを通して日本語を学ぶこともしており様々な教え方があることがわかり、勉強になりました。</p>	
受入れ先 担当者の コメント	<p>礼儀正しくきちんとした好青年ですが、印象としてはおとなしい感じなので実際のところ2時間、学生を相手に授業がこなせるのかどうか？と少し不安もあったというのが正直なところでした。しかし、初日の授業から笑顔で楽しそうに体を使って授業をしている姿を見て安心しました。学生もそんな船曳さんの教える姿に好感を持っていたようです。また、授業中は船曳さん自信も授業を楽しんでいるといった雰囲気でした。教師として教える楽しさと大変さを少しでも体験して実感してもらえたのではないかと思います。また、岡山大学主催の留学フェアでは長時間にわたりお手伝いをしてもらいましたが、笑顔で絶やさず、率先してパンフレット配布や雑務をしていただき、助かりました。</p>		受入れ先 担当者の コメント	<p>学校にも、授業にも慣れてきたようで表情が柔らくなってきましたし、授業のほうも3つのテーマでローテーションしてやっていたので、慣れてきたようです。また協調性もあり、廊下などでは学生たちとも話したり、ほかの教員たちともコミュニケーションをとっている姿を見かけます。今週はスピーチコンテストに関する事務的な仕事もやっていただきましたが、事務的な仕事もきちんと丁寧にこなしてくれました。</p>	
1週間の 感想と 今後の目標	<p>この1週間は、とても充実していました。私は教員志望ですが、実際に生徒を目の前にして何かをした経験がほとんど無い為、どのように進めたらよいのか全く分かりませんでした。今週の特別授業ではあまり余裕もなくただ準備したとおりに行っていたので、生徒の様子を確認することになっていませんでした。そのために2時間の間全く休憩を入れずに授業をしたり、生徒は理解できていないのに先へ進んだりということがありました。その他にも分かったこととして、2時間授業をするだけでも集中力と体力をとても使うということです。授業中には全く感じなかった疲れが、帰ったとたんに来たのでこんなに疲れていたとは思いませんでした。教師になると一日にその何倍も生徒の前に立つことになるので体力や集中力を高め、要領よくできるようになりたいと思います。</p>		1週間の 感想と 今後の目標	<p>この一週間は、授業の雰囲気にも慣れてきて、少し気持ちに余裕をもって過ごすことができました。今週見学させていただいた授業では、一度授業者をさせていただきましたが、全くできていなかったため授業法についてもっと学ぶ必要があると感じました。他にもスピーチの授業を見学させていただいて、言語を学ぶ際には考えて話すことが大事であることが学べ、さらにこちらで学んでいる生徒の皆さんはとても意欲的であることがわかりました。私が普段通っている大学の講義では、このように生徒が意欲的に学習している姿がほとんど見られず、私自身もこれまで意欲的に学んでいたとは思えないので、生徒の皆さんを見て私も変わっていかなければならないと感じました。二週間授業を見させていただいて、先生お一人ごとに違った様々な教え方があることがわかりました。私も自分の教育観をもって自分の教育法を作っていきたいと思いました。今週の特別授業では、積極的に参加してくれた生徒に話しかけることができるようになったと思います。しかし、私は生徒の皆さんに伝えたいことがまだ半分ほどしか伝わっていないと思われるため、今後は伝わるような言い換え方などを考えてやっていきたいと思います。</p>	

氏 名 (学校名)	船曳 凌史 (岡山理科大学)	国 (希望する体験)	ミャンマー	企画テーマ	日本語教育体験
受入れ先	もみじ日本語センター	期間	8/27～9/13	担当者	村松愛先生
日付	体験日誌		日付	体験日誌	
2019/9/7	本日は、11時30分から13時までの1時間30分を特別授業、14時から15時30分までの1時間30分授業の見学をさせていただきました。 今回の特別授業は、童謡を歌いました。今回の受講者は5人でした。始めに自己紹介をしその後、歌詞の意味を確かめながら、3つの曲を歌いました。このテーマは受講者の反応が良かったので、前回と同じようにしました。しかし、今回の生徒の一人が、この授業の終わりに「この授業は楽しかったけど、もっと日本語が学べるような授業をしてほしいかった」と言いました。私はもっと生徒の皆さんのためになるような授業を考えるべきだったのかもしれません。 今回の授業見学では、初めて見学させていただいたクラスに行きました。このクラスはまだ比較的日本語を学び始めて間もない生徒さんたちが集まっていた。その授業では時々日本の歌を題材にして勉強することがあるらしく、わたしがとくべつじゅぎょうでしているようなことをさせていただきました。		2019/9/13	本日は、11時30分から13時までの1時間30分、13時30分から15時までの1時間30分で授業の見学をさせていただきました。 11時30分からの授業では、10日の一つ目の授業にもう一度見学に行かせていただきました。今回は前回の授業で出されていたテーマで話せる人がスピーチをするという内容でした。スピーチが早く終わったので、残りの時間で生徒の皆さんが日本語を話す際に難しいと感じることや、日本の文化で知りたいことなどを先生に質問をしていました。私も日本のことについて少し伝えさせていただきました。 13時30分からの授業は、以前見学させていただいたディベートをしていたクラスでした。今回は日本語で道案内をするという内容でした。この道案内は、日本の英語教育で行われていたものとよく似ており、道案内をすることは必要な力で、言語を学ぶのに話す力がついてよいことがわかりました。	
2019/9/8	本日は、14時から15時30分までの1時間30分で授業の見学をさせていただきました。 本日は、「地元を紹介」のテーマで特別授業が予定されましたが、参加者がいなかったためありませんでした。このことは反省すべき点だと思います。これは私がこれまでしてきた特別授業の評判がそれほど良くなかったということだと思います。 今回の授業見学では昨日と同じクラスに行かせていただきました。今回は昨日で歌った歌の歌詞をもとに学習していました。そして私も生徒の皆さんに混ざって一緒に活動に参加させていただきました。この授業のように日本の歌などのただの文章ではないものから日本語を学ぶということもできるということがわかりました。				
2019/9/10	本日は、2つの授業を見学させていただきました。 一つ目の授業は今回で初回の授業でした。この授業は生徒が日本語を話す能力を高めるための授業で、生徒が日本語を話す場面が多くありました。このクラスは生徒の日本語能力の幅が広いクラスでした。このクラスでは前回まではテーマに沿って日本語で話すことをしていました。今回は初回なので生徒が先生に自由に質問をしたりしていました。その中の一つに日本語の発生の仕方を教えてほしいという質問がありました。そこでミャンマーの人は「あ」と「え」の発音が同じになってしまっていることがわかりました。 二つ目の授業は今回初めて行かせていただくクラスでした。このクラスでは毎回様々なテーマで日本語でディベートをしているそうです。今回は「朝がご飯にはお米と麺ではどちらがいいか」というテーマでしていました。ディベートをすることで日本語で考える力がつくのだとわかりました。				
2019/9/11	本日は、11時から13時までの2時間特別授業、13時30分から15時30分までの2時間授業を見学させていただきました。本日は、どちらも同じクラスで日本の企業に就職する生徒たちのクラスでした。 今回の特別授業は、「弓道について知ろう」というテーマでしました。このクラスで特別授業をするのは3回目ということもあり、授業の始めから楽しい雰囲気ですることができました。このテーマはこちらが話す時間が長くなってしまいましたが、よく聞いてくれてメモもよくとってくれていました。最後に弓道をしてみたい人に手を挙げてもらうとほとんどの生徒が手を挙げてくれたので、弓道について伝えることができたのだと思います。 このクラスでは2度特別授業をさせていただいていますが、実際に授業を見学させていただいたのはこれが初めてでした。今回は日本の文化を●×クイズで出し、その理由を発表していました。				
2019/9/12	本日は、9時から17時までスピーチコンテストのお手伝いをさせていただきました。このスピーチコンテストではミャンマーで日本語を学んでいる人たちがその場で出されたテーマで日本語でスピーチをするそうです。本日はまず会場設営のお手伝いをさせていただきました。その後スピーチコンテストの受付をさせていただきました。スピーチコンテストの予選が始まってからは、お手伝いをさせていただきながら様子を見学させていただきました。スピーチコンテストの予選の日本の文化を問う問題は現在の日本のことを問う問題もあり、私もわからない問題がいくつかありました。参加者は日本に住んでいなくてもこのような問題に答えており、どのようにしてその情報を知のだろうかと思うほどでした。本選では挙手した順番でスピーチをすることになり、1番目の人は真っ先に手を挙げていました。スピーチをしている参加者の皆さんは堂々と話していました。私もこのコンテストの参加者の皆さんのように挑戦することを大切にしたいと思いました。				
受入れ先 担当者の コメント	インターン最後の週ということでしたが、この週は実際の授業というより、ほかの教師のアシスタントとして授業に入っていたいたり、共立国際交流奨学財団主催のスピーチコンテストのお手伝いをしてもらったりしてもらいました。どの教師からも評判がよく、学生たちからも好かれていました。また、コンテストでは長時間にわたるお手伝いにもかかわらず常に笑顔で、迅速に行動してくれてとても助かりました。教師としての仕事だけでなく、学校運営の一部としてこういったイベントも勉強になったかと思います。		受入れ先 担当者の コメント		
1週間の 感想と 今後の目標	この一週間はでは、最後の特別授業があり、さらにスピーチコンテストのお手伝いをさせていただきました。自由参加の方の最後の特別授業では、参加者が一人もいなかったためできませんでしたが、これは私が生徒の皆さんにまた特別授業を受けたいと思ってもらえなかったためだと思います。7日の特別授業でも日本語についてもっと学べる内容にしてほしいと生徒の一人から言われたので、そのことがまた受けたいと思われなかった原因の一つなのだと思います。今回の特別授業は終わってしまいましたが、私が教員になるためには、生徒がまた受けたいと思えるような授業をすることは必要になると思うので、そう思える授業がどのようなものか考えそれが実践できるようにしたいと思っています。 スピーチコンテストのお手伝いの際には、受付や会場設営などをさせていただいたり、参加者の皆さんが予選で問題を解いている様子や本選でスピーチをしている様子を見学させていただいたりして、貴重な経験をさせていただきました。 授業の見学でも先週とはまた違う授業に行かせていただきました。 この教育体験も次回で最後ですが、最後の時間を大切にしたいと思います。		1週間の 感想と 今後の目標		

総 評

- ◆氏 名：船曳 凌史 (岡山理科 大学)
- ◆受け入れ先：もみじ日本語学校
- ◆企画テーマ：ミャンマーの子供たちに弓道を通して、日本の文化に興味を持ってもらう
- ◆体験期間：2019年8月27日～2019年9月13日

<感想>

今回の日本語教育体験が終わり、振り返ると私は本当に良い経験をさせていただいたと思います。そしてミャンマーに行き本当に良かったと思っています。私は海外に行ったことはありましたが、家族との旅行のみでした。行く前にそこで生活することを考えると、不安な気持ちであふれていました。しかし、実際に行くと、ミャンマーの人たちは優しい人ばかりで外国人の私にも笑顔でさまざまなことを教えてくれたりしました。もみじ日本語学校の先生方も全くと言っていいほど何もできない私を受け入れ、さまざまなことを教えてください、優しく接して下さって本当に助かりました。3週間を楽しく過ごすことができたのは、皆さんの心の温かさのおかげだと思います。このことを通して人の心を変えるのは人だということを改めて感じました。

また今回授業見学、特別授業、留学フェアのお手伝い、スピーチコンテストのお手伝いなど様々な経験をさせていただき、とても良い体験をさせていただきました。ミャンマー語が話せず、日本語の教育法もわからない私でしたが、皆さんのおかげで様々なことを学ぶことができました。授業見学では先生方がどのように日本語をどのように教えているのかを見ることができ、特別授業では実際に生徒の皆さんに日本のことを伝える経験をさせていただき、留学フェアのお手伝いやスピーチコンテストのお手伝いでは、行われている様子を見学させていただきました。

今回の日本語教育体験では、体験中以外でも様々な経験ができ学びながら毎日を楽しく過ごすことができました。この体験をこれからに生かしたいと思います。

<受け入れ先コメント>

受入れ担当者：村松 愛 役職：MOMIJI Japanese Language Center 校長

3週間という短い期間でしたが、日本語教育という仕事だけでなく、いろいろ経験をしてもらえたと思います。特に日本語を教える時には、いつも以上に大きな声を出して、体を使って一生懸命教えてくれました。それが学生たちにも伝わったようで、学生たちにとっても人気がありました。授業時間以外にもいろいろ質問を受けたり、写真を撮ったり楽しそうにしている姿が見られました。

授業以外にも留学フェアやスピーチコンテストなどのお手伝いもしていただきましたが、普段見ることができない裏側の仕事も経験することができたと思います。また、嫌がらず積極的に手伝ってくれたので、とても助かりました。

礼儀儀正しく協調性もあり、当校の教師やスタッフともうまくやってくれました。インターン生として船曳さんに来ていただき、当校としてもとてもいい経験になりましたし、いい刺激となりました。この3週間頑張ってくれたことに感謝しております。

当校での経験が今後、少しでも何かの役に立っていただければ嬉しく思います。